

校長通信「つぶやき」 佐伯市立鶴谷中学校 校長 渡邊和彦

令和6年5月16日 第6号（通算第61号）

○校内模試は何の為？

2年生もそうだけど、3年生になると進路対策（入試対策）の為にアチーブテストや校内模試を受けることとなります。これらは市販の、いわゆる業者が作成したテストを購入して受験するわけです。で、このテストを販売しているのは新学社とか明治図書とかベネッセだとか、会社としては多くはなく限られた数です。こんな話が耳に入りました。「どこの中学校がいつテストをするのかを把握し、その問題をコピーして対策を練る」確率的には高くないにしろ、たまたま問題が同じであれば、得点をとるためだけなら有効な手段なのでしょう。しかし、本来、目指す進路に対して自分の学力が順調に身についているのかを把握する上では、最悪の手段です。見かけだけの得点を信じて、何が得られるのでしょうか？そしてそんな意味の無い手段に大人が手を貸しているとしたら・・・子どもたちを「陥れる」ことはあっても、「育てる」事にはなりません。皆さんの高校入試は中学校から送られる調査書に記載された評定の点数と記載事項、それと、入試本番のテストの結果のみです。大学入試でウェアラブルカメラ（めがね型）を使って不正受験をしたというニュースが流れていました。哀れな話です。※校内模試の点数やアチーブテストの点数は評定には加味しません。どうか、テストの意味をもう一度よく考えて欲しいと思います。

- ① 自分の弱点を把握し、補強するツール
- ② 目指す進路に向けあとどれくらい努力しなければならないか示す指針
- ③ 頑張った成果が表れる「励み」となるもの

「誰より上で、誰より下、鶴谷で何番・・・」は進路を考える上ではあまり意味はありません。必要の無い生徒のために、今年度は望むと望まざるとに関わらず、お渡ししていた校内順位を記した成績通知表は止めました。（※欲しい人には従来の形でお渡しします。）他人より上か下か？ばかり考えていては無限に苦しむ要因になります。常に周りに他人がいるから、他人のせいで落ち込んでしまいます。他人に左右される人生は、私は、まっぴらごめんです。「昨日の自分より成長したかな？」そんな風に考える鶴谷の生徒達であって欲しいと思います。

